



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

国際ロータリー2800地区

鶴岡ロータリークラブ

第2445回(本年度第32回)例会 2009.3.3

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡
鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

樋渡 美智子

会議等の報告

○2月28日(土)第2ブロック新人会員セミナー
菅原亨さん、樫野隆博さん、塚原担当委員、越智幹事、会長の5名出席。講師は、地区研修リーダーの関原カウンセラーでした。ロータリーの全容を具体的に密度の濃い感動的な講演でした。その講演の内容の中から私自身が再確認した事や印象的な事について、少し触れたいと思います。

1 鶴岡ロータリークラブは、日本で7番目の創立?世界に7つの国際事務局があるが、この事についても日本事務局は把握しているので利用を。

2 RI世界本部は、アメリカ、イリノイ州シカゴ郊外のエバンストンにあり、国際ロータリー職員数390名、ロータリー財団154名(国際事務局員除く)が働いている。

3 ロータリー標語が2つある。1950年デトロイト国際大会で公式標語として承認される。

① 第一標語 「超我の奉仕」

② 第二標語 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

4 会員の義務として6つの項目がある。

① RI定款、規則並びにRC定款、規則を守る。

② 新会員を推薦すること。

③ 委員会活動、その他ロータリープログラムに参加すること。

④ 入会金、会費を納入すること。

⑤ 例会に出席すること。

⑥ 雑誌「ザ・ロータリアン」「ロータリーの友」の講読。(④~⑥は会員の三大義務)

5 出席——強く活発なロータリークラブになるために重要。

会員の欠席によって、他のクラブの多様性、プロジェクトに対する全会員の貢献、各会員の仲間意識という価値が薄れてしまう。この事は退会にも繋がる。

? 簡単に入会させてしまう

? 四大奉仕のうちの職業奉仕が忘れられている

? 一業種一名

アメリカ、日本が会員減少。ドイツが会員増加傾向

6 2009~2010 RIテーマ

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

講演のしめくくりとして、教典にある「無財の七施」と永六輔のことば「生かされて」「ロータリーはビタミンR」のことば——。

○ 加藤 功さん——順調に快復している。

○ 富田喜美子さん——3月16日~4月14日、GSEリーダーとして台湾・高雄訪問。

◆ 今年の白鳥

大通りの混雑をさけて田んぼ道をとるが、今年は例年になく多くの白鳥の姿がみられた。最上川のスワンパークで餌やりを中止したことに起因するようだ。かつて、白鳥が餌をとっている田んぼはほんのわずかの田んぼだけであった。その田んぼは、コンバインを使わず手で刈り取った所だと教えられたので、その話をした。その人は「ちがう」という。今は、手で刈り取った田んぼでなく、古くなった機械で刈り取ったから穂が多く落ちているのだという。つまり、古い機械の持ち主の田ということである。どっちにしても白鳥がおりる場所があるだけでも、白鳥にとっては幸せだといった。ところが、

3月は...

識字率向上月間



出席報告

会員数	46名
出席	27名
出席率	64.29%
前々回確定出席率	76.19%

RI会長 李 東 建 地区ガバナー 武田和夫
 会長/樋渡美智子 副会長/佐藤孝子 幹事/越智茂昭
 会報委員会/松井 亨・北川米三



創立50周年式典
2009年4月18日

事務局:鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

白鳥が死ぬというケースが多いようである。つまり、親切に餌を与えられた白鳥は、自分で餌を探すことができずに餓死してしまうそうだ。最上川に餌をまくのではなく、もっと遠くに餌をまき、餌を探さなければならぬ状況をつくるのが、結果的には白鳥を愛することに通ずる。

梶野隆博君 2月例会欠席のお詫び
加藤 賢君 全国スクールアルバムコンテストで
当社スタッフ二人が卒業アルバムでダブル努力賞
を頂きました。